

金沢医科大学 第10回腫瘍病理セミナー

北陸がんプロFD講演会



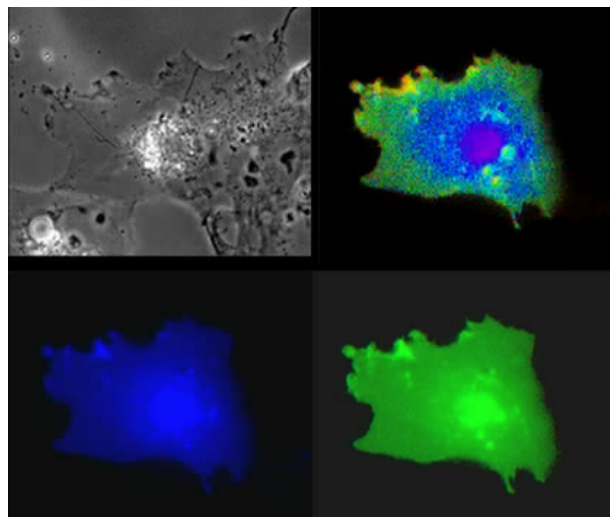
国立循環器病センター研究所
細胞生物部 部長

望月直樹

イメージングで紐解く 生体での細胞の振る舞いと その情報伝達

望月先生は、北海道大学医学部を1984年に卒業、同大大学院（循環器内科学）を1988年に修了後、循環器内科医として病院勤務、カルフォルニア大学サンディエゴ校・タフツ大学・国立国際医療センター室長を経て、2001年より現職。第34回（2008年度）「循環器疾患病態理解のための分子イメージングによる血管内皮・心筋細胞の情報伝達」にて日本循環器学会佐藤賞受賞。大阪大学医学系研究科連携大学院招聘教授兼任。

血管新生は癌の進展において重要な過程ですが、望月先生はライブイメージングの手法を駆使した血管新生の分子機構解明を精力的に行っています。



世界初のRasのバイオセンサー Raichu

日時：7月25日（木）

17時から18時半

金沢医科大学病院

本館4階 C41 講議室

主催：病理学I 清川 内線 3611

参考文献：

The sphingosine-1-phosphate transporter Spns2 expressed on endothelial cells regulates lymphocyte trafficking in mice. *J Clin Invest* 2012

The sphingolipid transporter spns2 functions in migration of zebrafish myocardial precursors. *Science* 2009

Differential function of Tie2 at cell-cell contacts and cell-substratum contacts regulated by angiopoietin-1. *Nat Cell Biol.*, 2008

Spatio-temporal images of growth-factor-induced activation of Ras and Rap1. *Nature* 2001

Activation of the ERK/MAPK pathway by an isoform of rap1GAP associated with G alpha(i). *Nature* 1999